

実需給断面における連系線マージンの値 の訂正について

2017年 7月 4日

実需給断面におけるマージンの値及び確保理由

【訂正前】

連系線	方向	マージンの値	マージンを確保する理由
東北東京間 連系線	東北⇒東京	① 0～79万kW ② <u>30</u> ～79万kW	(※1)の値(①)とする。但し、台風や暴風雪等の予見可能なリスクが高まった場合は、電力系統を安定に維持するため、東京エリア内で想定する送電線の故障により複数の電源が脱落した場合に東北エリアから東京エリアに流れる最大の潮流の値と(※1)の値のうち大きい値(②)とする。

【訂正後】

連系線	方向	マージンの値	マージンを確保する理由
東北東京間 連系線	東北⇒東京	① 0～79万kW ② <u>33</u> ～79万kW	(※1)の値(①)とする。但し、台風や暴風雪等の予見可能なリスクが高まった場合は、電力系統を安定に維持するため、東京エリア内で想定する送電線の故障により複数の電源が脱落した場合に東北エリアから東京エリアに流れる最大の潮流の値と(※1)の値のうち大きい値(②)とする。

下線部：訂正箇所

- ※1 電気の供給先となる供給区域に必要な運転予備力又は供給区域に電気を供給予定の供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力(但し、当該電源が発電する電気を継続的に供給区域外へ供給している場合は当該供給量を控除した値とする)に対して不足する電力の値をマージンとして設定。